

消費者安全調査委員会の動き 第43号

(平成28年10月31日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第50回消費者安全調査委員会（平成28年10月31日）

- 住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故の事案の調査選定
新たな調査案件として、「住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故」の事案をテーマにし、調査・分析を行うことを決定しました。
住宅用太陽光発電システムは、設置台数が増加傾向にあり、今後も増加することが想定されます。また、火災等が発生した場合には、生命・身体の被害が発生する恐れがあるものであり、これまでの事故の原因究明とそれに伴う事故の防止策を示すことが必要と考えています。
- 家庭用コージェネレーションシステムから生じる運転音・振動により不眠等の健康症状が発生したとの事案
本件事案は、平成27年11月以降調査を継続しているものですが、調査開始日から1年以内に事故等原因調査を完了することが困難と見込まれることから、本件事案の調査の経過報告案について審議しました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち6件については調査を行わないことになりました。残りの案件（46件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 製品等事故調査部会（10月上旬に開催）
 - ・ 家庭用コージェネレーションシステムから生じる運転音・振動により不眠等の健康症状が発生したとの事案
調査の経過報告案について事務局から説明を受け、議論を行いました。
 - ・ 新規調査案件の候補
新規調査案件の候補について事務局から説明を受け、議論を行いました。
- サービス等事故調査部会（10月下旬に開催）
 - ・ 体育館の床から剥離した床板による負傷の事案
事務局からこれまでの情報収集の結果の報告を受け、調査分析の観点について議論を行いました。
 - ・ 住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故
新規調査案件の候補として、事務局から説明を受け、議論を行いました。